

キラめく静岡を創る!!

元気で、持続可能な社会を後世に渡していく。これは、私たち国民の共通の願いではないでしょうか。しかし現実には、静岡県も人口減少という大きな課題に直面しています。これを放置すれば、経済のパイの縮小や税収減による公的サービスの低下が懸念されますので、早急な対策が必要です。

対策1 人口流出の防止 STOP

流出してしまう原因の一つに、災害に対する不安感が挙げられます。現在本県では、「地震津波対策アクションプログラム2013」を実行中ですが、先日も、天竜区原田橋で痛ましい事故が発生しました。一日でも早く、着手した事業が完了するよう働きかけて参ります。また、近年多発する集中豪雨対策として、河川の整備も進めて参ります。

対策2 人口流入の促進 WELCOME

本県で育った若者が、また再び故郷に戻ってきてもらうためには、雇用の受け皿となる産業の力が欠かせません。得意技である自動車産業等の安定的な支援はもちろんのこと、光・電子、農業、環境、健康医療、さらには航空宇宙産業の積極的な集積を促進するべく、経済活動しやすい環境整備に力を注ぎます。

これらの組み合わせで、人口減少は食い止められます。しかし、そのためには財源の裏付けが必要です。無い袖は振れないということです。そこで、施策を確実に推進するため、**財政状況を健全なものにしなければなりません。**

実践1 支出を抑える 負担

本県の借金残高は約2兆8000億円で、一人あたり平均76万円もあります。後世にツケを回さないためにも、一層の行政改革が必要です。もちろん、議員も含めて人員削減や事業の仕分けは大事ですが、今後、より重くのしかかってくるのが、公共施設や道路・橋といったインフラの更新です。浜松市のように、全データを見える化し、適切な管理と更新を徹底させます。

実践2 収入を増やす

県内で多くのお金を消費してもらうことは大事なのは、言うまでもありません。そこで、拡大する海外からのお客様の消費意欲を取り込む必要があります。本県には、富士山をはじめ美しい景観や美味しい食材など魅力は豊富ですが、自由に使えるインターネット環境不足や言語の壁が、大きな課題として挙げられます。観光立県を標榜するからには、おもてなし度の更なる向上を図ります。

健全な財政運営で施策を確実に前に進め、人口減少問題を打開する！

でも、そのためにもう一つ必要なのが、皆さまの**政治に対する関与**です。特に、社会に活力を与えるためには**若者の政治参画**が何より大事です。来年には、選挙権が18歳以上に拡大されることになりました。



これを契機に、キラめく静岡と一緒に創っていきませんか？

山崎真之輔 プロフィール

- ◆ 33歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆ 元衆議院議員
鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(1期目)
- ◆ 所属会派: ふじのくに県議団
- ◆ 所属委員会: 文化観光委員会
(副委員長)



浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ

第8号 通信

平成27年3月発行

本気が違う!!

山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

これまで、これからも。

一昨年の6月から頂いた在任期間も、残りわずかになりました。本会議場での質問も、所属委員会での質疑も、市議会議員時代に培った経験を生かして幅広く行うことができたと思います。



しかし、人口減少問題など静岡県が抱える課題は数多く残っていますし、逆にラグビーW杯や東京オリンピックをはじめとする、地域活性化チャンスの種も植わっています。

これまで、これからも。「**本気が違う!**」というキャッチコピーとともに、全力で静岡県政をリードして参ります。

どうぞ、ご期待ください！！



はままつ、地域、子どもたちのために！

議員の仕事は、箱の中、机の上ばかりではありません。いつでも大事なのは、現場主義と常識感覚。おかげさまで様々な行事に参加し、多くのことを学ばせて頂いておりますが、「はままつ、地域、子どもたち」のために、私にできることを精一杯恩返ししていきたいと思います。



| 静岡県議会会派 |

“ふじのくに県議団”からのお知らせ

Activity Report

vol.12
平成27年3月発行

新年度に向けて

林 芳久仁 会長



県民の皆さん、こんにちは。

私たち「ふじのくに県議団」は、皆さまからの思いを平成27年度予算編成に反映させるべく、川勝知事に対し下記の政策提言重点7項目を強く要請してまいりました。

その内容としては、まずは「県民の安心・安全な社会づくり」、2つ目に「人口減少対策と社会保障の確立」、3つ目に「地域経済力と雇用確保」、4つ目に「県観光立県確立」、5つ目に「豊かな教育環境づくり」、6つ目に「有徳の人づくり」、7つ目に「健全な財政・行政改革」です。それぞれ具体的事業への予算に生か

され、2月定例会では建設的な議論も行って参りました。

また、我が会派は4年間の公約集『覚悟』を発行しました。会派全員で一致結束し、実現に向け県民幸福度向上に全力で邁進する覚悟です。今後とも、ご指導を宜しくお願ひいたします。

2月18日
佐野 愛子
議員

質問項目抜粋

1. 平成27年度当初予算編成について
2. 人口減少社会への挑戦について
3. 新産業の創出について

2月20日
阿部 卓也
議員

質問項目抜粋

1. 県立森林公園の整備について
2. 改正された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」への対応について
3. 教育委員会改革について

2月20日
曳田 卓
議員

質問項目抜粋

1. 沼津市内浦重須地区の高台移転について
2. がん患者等の就労支援の充実強化について
3. 選挙権の18歳以上への引き下げに向けた主権者教育について

2月24日
遠藤 行洋
議員

質問項目抜粋

1. 富士山・境川・大湧水公園構想の実現に向けた取り組みについて
2. U・Iターン就職への支援について
3. 東部地域における県営アリーナの整備について

2月25日
大池 幸男
議員

質問項目抜粋

1. 新幹線空港新駅の設置について
2. 航空機産業の育成支援について
3. 農業用水を利用した小水力発電の導入促進について

2月26日
野澤 義雄
議員

質問項目抜粋

1. 東京一極集中の是正について
2. 農地中間管理事業について
3. 農協の役割について

対談レポート

2月定例会を振り返って

～ミライを拓くのは私たちです!～

川勝知事 山崎真之輔 県議



山崎 2月議会も終わり、日に日に春めく今日この頃ですが、知事も年度末でご多忙とは存じますが、ますますエネルギーですね。

川勝 ありがとうございます。毎日富士山から勇気をいただき、日本一の県産品を食べて元気いっぱいです！それに、2月議会では、ふじのくに県議団のみなさまから、すばらしいご提言の数々をいただきましたので、新年度に向けて、さらなるやる気が湧いてきているところです！

山崎 私たちのご提案に対して、本当に具体的な方策をお示しいただきましたね。

川勝 ハイ。まずは「静岡方式の地震津波対策」。これは、国の言いなりでなく、県内各地の実情に応じて対策を講じていくということです。たとえばご提言いただいた、沼津の内浦高須地区の集落の高台への集団移転をスムーズに進めるために、優先的な農地転用にお力添えをしますし、来年度は51箇所の防潮堤や水門などについて具体的な検討を進めていきます。

次に、「人口減少社会への挑戦」の一環として「子育ては尊い仕事」という理念のもと、企業が結婚・子育てを応援するしくみづくり、1、2歳児分の保育士配置拡大、不妊治療の支援拡大、また、県庁内保育所のような仕事と子育てを両立できる就業環境の整備などに支援をしていきたいと思います。また、U・Iターンを支援する「ふじのくにに住みかえるセンター」を東京を開設するなど、良いご提言には、スピーディかつ具体的にお応えしていきます。

山崎 産業政策も、新年度はかなり思い切った政策を投入しますね。

川勝 よくぞお聞きいただきました！今年度官民一体となって精力的に取り組んできました産業戦略会議の議論を具現化するかたちで、「産業戦略推進センター」を4月に立ち上げます。ここでは、地域経済のけん引役となる地域企業を支援し、県内経済の成長を狙いますが、いわゆる「目利き」が大切となるので、民間の力を借りて「アドバイザリーボード」を設置します。さらには、県内での設備投資や研究助成に対しても積極的な優遇制度を導入して、これらを連動させて一気に新産業の育成に努めていく所存です。

山崎 新産業の創出は、県内雇用の創出につながり、人口流出への歯止めともなりますので、ぜひ県をあげて取り組んでいましょう！

知事は、女性の活躍促進の大切さもご理解いただいているんですね？

川勝 今回も女性・そして若者の活躍のためのご提言をいただきありがとうございました。時代は動いています。これからは女性と若者の力があってこそ理想郷ができると私は信じています。女性の目線

や感性は、より優しくきめ細やかな生活環境を創ることができますし、その視点は防災や新しいビジネスチャンスづくりでも重要です。27年度中には「ふじのくに女性大活躍応援会議(仮称)」を立ち上げますし、若者にはもっと積極的に海外に出たり、さまざまな挑戦をしてもらいたいと思っています。国会では選挙権の18歳への引き下げが議論されていますので、政治の世界でも、もっと女性や若者が挑戦をして新しい風を吹かせていただきたいですね！

山崎 そうですね。私たちも人材育成こそが、「日本の理想郷ふじのくに」づくりの肝だと感じています。そういった意味では、4月からは教育界に大きな動きがありますね。私たちも期待と不安をもって注視しています。

川勝 文部科学省による教育改革により、教育長と教育委員長を一本化した新教育長を今回議会の同意を得て選任していただきましたが、高木新教育長は知識と教養はもちろん、さまざまな社会経験を経た強さとインテリジェンスをもって、よりダイナミックな教育行政を展開されるものと思います。また新設される「総合教育会議」では、教育委員会事務局だけでは解決できない、学校の統廃合やコミュニティスクールのありかた、小中一貫教育の導入など、地域とともにくる学校、教育についての議論がされることになるでしょう。地域総ぐるみで教育改革をめざします！

山崎 教育こそすべての「礎」だと思っています。どんな場合でも「礎」づくりは手間がかかり、大変な作業だと実感していますが、どしどりと重厚でかつ美しい富士山のような、まさに知事のおっしゃる富国有徳のひとつづくりができるよう、私たちも一緒に議論や実践をしていきたいと思います。

川勝 4月からの新年度も、「ふじのくに県議団」のみなさまといっしょになって「理想郷・ふじのくに」づくりができることを、ここから願っています！

私のみるところ、やはり静岡県のミライを拓いていけるのは、「ふじのくに県議団」のみなさんですよ！ぜひ、ミライのために一緒に頑張りましょう！

山崎 最大級のお言葉をありがとうございます。新年度も、県民のみなさまのご期待に沿えるよう、川勝知事と力を合わせて頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします！



2015政策集できました!!



詳しくは
ウェブで
ご覧いただけます。



皆さまの県政についてのご意見・ご感想をお聞かせください。

静岡県議会 ふじのくに県議団

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-3510 FAX 054-221-3513

ホームページ <http://www.fujinokuni-kengidan.jp>メールアドレス info@fujinokuni-kengidan.jp